

私たちの生活空間から「木」という素材が消えて行きつつあることに  
お気づきでしょうか。

この企画展の中心となる野村隆哉氏は、

京都大学で木材物理学者として長年木材、竹材の研究に取り組み、  
その性質を知りぬいた上で40年間に亘って  
木工芸を続けてこられたユニークな作家です。

今回は、野村氏とその仲間たちが制作した机、椅子、おもちゃなど、  
私たちの生活にやさしく寄り添う木の生活用具を多数展示いたします。

また、氏が確立した「熱化学還元法」という技術を応用した楽器の紹介や、  
木のおもちゃで遊んでいただけるコーナーも。

子どもから大人まで、みなさんに会場で実際に木のぬくもりに触れていただき、  
人間本来の情緒のゆりかごのような「おもいやり」「やさしさ」を  
木材素材から感じていただければと願っています。

## 野村 隆哉 プロフィール

1939年：大阪府吹田市生まれ

1967年：京都大学大学院 農学研究科 博士課程中退、京都大学木材研究所 助手 任官

2003年：京都大学 退官、野村隆哉研究所 設立

現在に至る。

専門分野：木材物理学、木文学

<木工クラフト作家活動>

1978年：第17回大阪産業工芸展 産業工芸部門 金賞 受賞

1979年：通産省選定Gマーク取得（玩具）

1985年：第3回朝日現代クラフト展 招待出品、京都クラフトコンペ 入賞

1987年・1992年：「はこで考えるーあそびの木箱」展 招待出品（北海道立旭川美術館、旭川）

1990年：第1回京都府優良デザイン商品コンペ 銀賞、ユーザー選賞 受賞

2009年：第27回朝日現代クラフト展 審査員奨励賞 受賞

これまでに140回以上の個展、企画展開催。

オータン工房主宰

<その他>

●インスタレーション・アート「竹あそび」創設

京都府乙訓、東京・明治記念館、フランス・ブルゴーニュ、大分県臼杵市、大分県竹田市、新潟県村上市、その他。

●木工による山間地域活性化指導

宮城県津山町、群馬県上野村、京都府北桑田郡芦生木工組合、高知県土佐町、大分県耶馬溪町。